

ジョリパット不燃
JQ-200シリーズ
乱流仕上げ
施工の手引き

平成19年5月25日【初版】

アイカ工業株式会社
第二R&Dセンター
建設樹脂開発グループ

<使用材料>

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー	ジヨリハットシーラー JS-500	水性タイプアクリル系 1液型透明シーラー	18kg石油缶	約51.4㎡/缶
主 材	ジヨリハット不燃 JQ-200シリーズ 標準色 JQ-200、JQ-□□□□ (□…数字) 特注色 JQ - 200△○○○ (△…英字、○…数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg缶	約 8㎡/缶

<主な施工道具>

- ・ステンレスゴテ

<下地調整>

標準下地は、石膏ボード（プラスターボード）又はモルタルとする。

<乱流仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	18ℓ
塗 布 量	0.07kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

・ ジョリパット不燃を無希釈で0.8kg/m ² となるようステンレスゴテで平滑に塗布する。	
---	--

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

◎乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

配 合	JQ-200シーズ	20kg
塗 布 量	約1.5kg/m ²	
施工道具	ステンレスゴテ ステンレスゴテで材料を均一に配る。	

追かけ塗り（5分以内）

4. パターン付け

・ ステンレスゴテで楕円を描くようコテ動かし、ジョリパット不燃の表面を引きずるようにして模様をつける。 (図-1)	
--	--

24時間以上放置して乾燥させる。

<施工のポイント>

- ・ ステンレスゴテのエッジを立てず、コテの裏面全体でジョリパット不燃の表面を引っ張るようにして楕円状に模様をつける。(図-1)

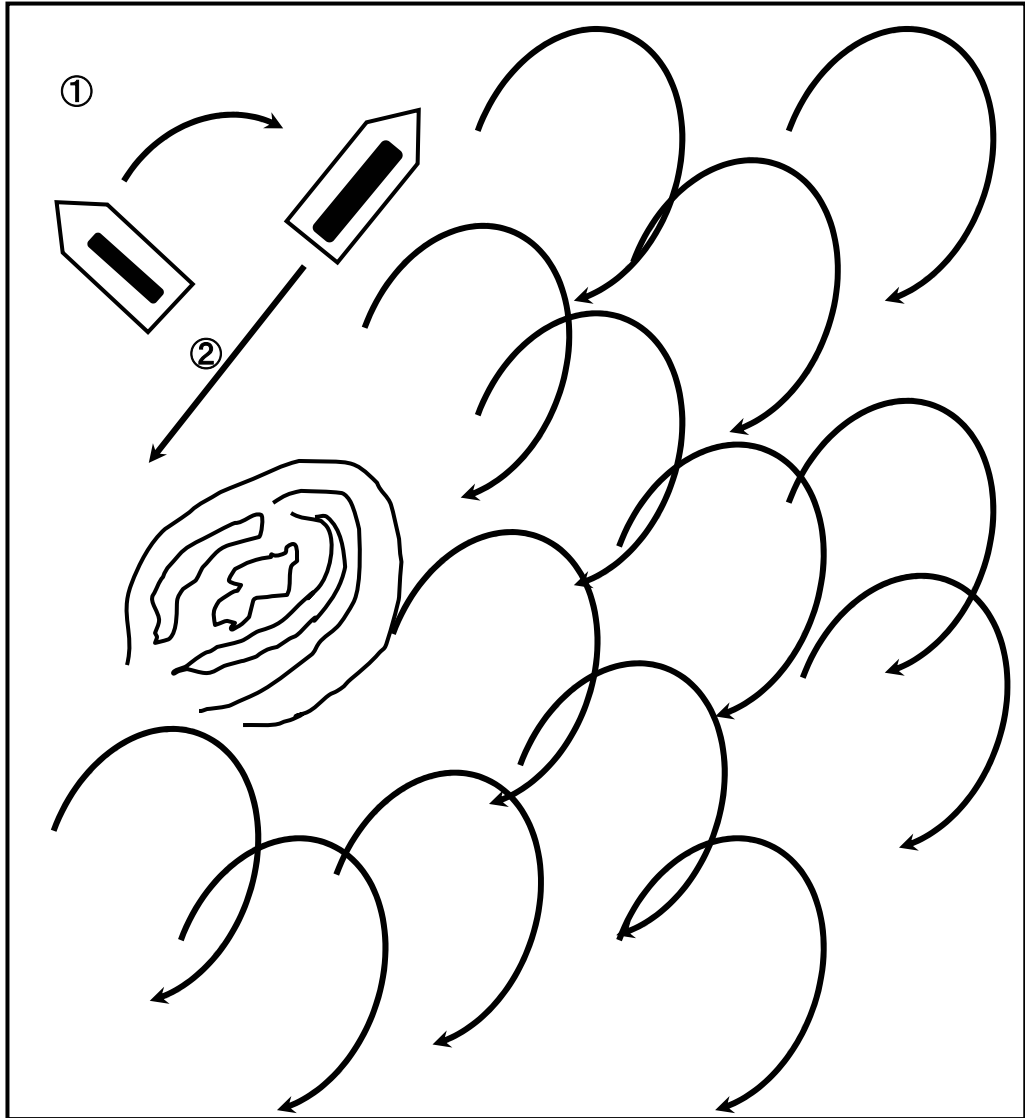
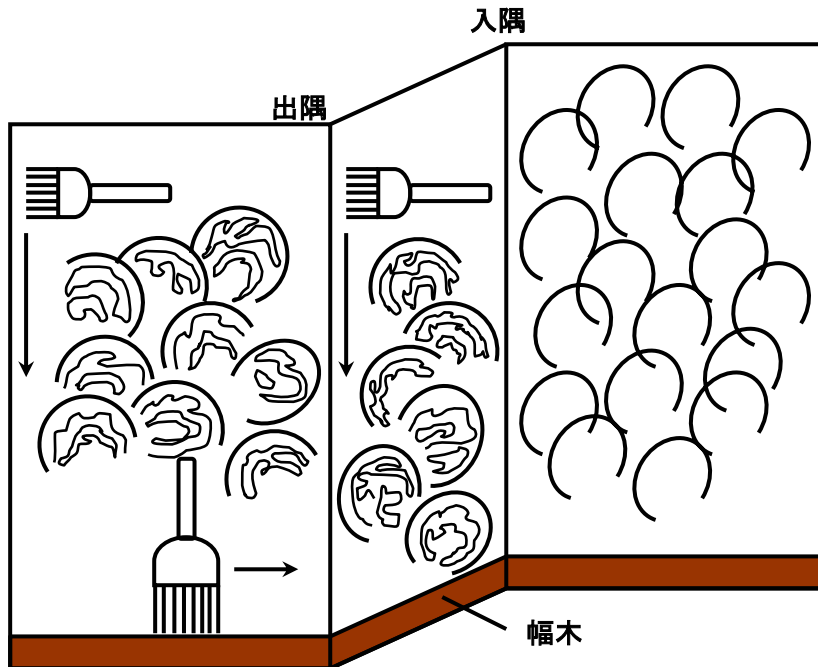


図-1

- ・ ステンレスゴテを①から②の順に動かし、パターンを付ける。②の方向にコテを抜くと、コテ切れが良い。

○入り隅、出隅の処理方法

- ・ 入り隅や出隅、幅木のちりは、ジョリパット不燃が乾燥する前に水を浸した刷毛（平刷毛など）で押さえる。（図-2）



刷毛で押さえる工法
図-2

<施工の注意事項>

- ・ 施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上の場合、原則として施工を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、採暖などの養生を行って下さい。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 極端なパターンの段差部分にヘアークラックが発生する場合があります。あまり、極端なパターンの段差をつけないよう注意して下さい。（図-3）
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。（特に大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。）
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。

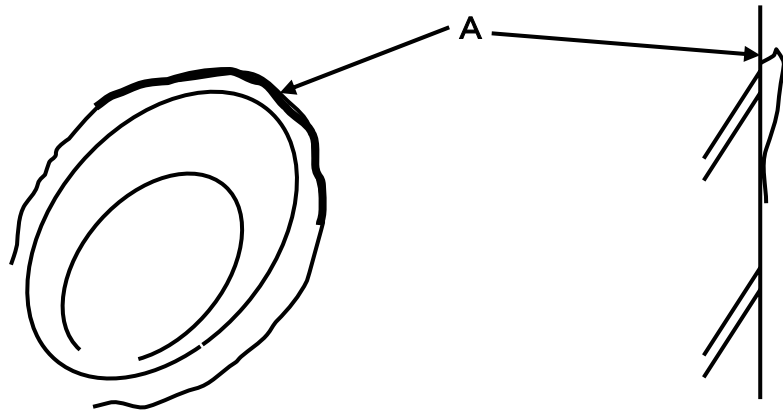


图-3

以 上